



2013年3月期 決算説明会

2013年5月7日

JASDAQ:6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<http://www.nichidai.jp/>

ネットシェイプ事業

単独

ニチダイ



精密鍛造金型

海外拠点

ニチダイアジア (NDA)

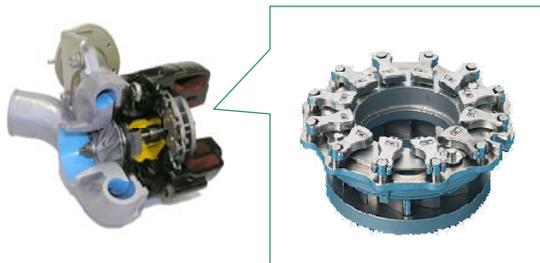
◆タイに立地する金型販売拠点。

ニチダイUSA (NUC)

◆米国オハイオ州にある金型販売拠点。

アッセンブリ事業

ニチダイプレジジョン (NPC)



VGターボチャージャー部品

ニチダイタイランド (NDT)



スクロール鍛造品

◆タイ・バンコク近郊にあるターボチャージャー部品の生産拠点。

◆2012年よりNDTにてスクロール鍛造品の量産を開始。



フィルタ事業

ニチダイフィルタ (NFC)



積層焼結金網フィルター

タイ・シンタート・メッシュ (TSM)



◆タイ北部・チェンマイ近郊に立地するフィルターの生産拠点。

I .13/3期実績

I .13/3期実績 — P/L: 売上・利益の状況 —

単位: 百万円

	12/3 実績 11/4-12/3	13/3 計画 12/4-13/3	13/3 実績 12/4-13/3	伸び率
売上高	12,524	13,500	13,154	5.0%
売上総利益	2,402	2,740	2,612	8.7%
販売管理費	1,562	1,670	1,719	10.0%
営業利益	840	1,070	893	6.3%
営業外損益	15	70	△ 137	—
経常利益	824	1,000	1,030	25.0%
当期純利益	468	560	561	19.9%

* 百万円未満切り捨て。

I .13/3期実績 — 四半期別業績推移 —

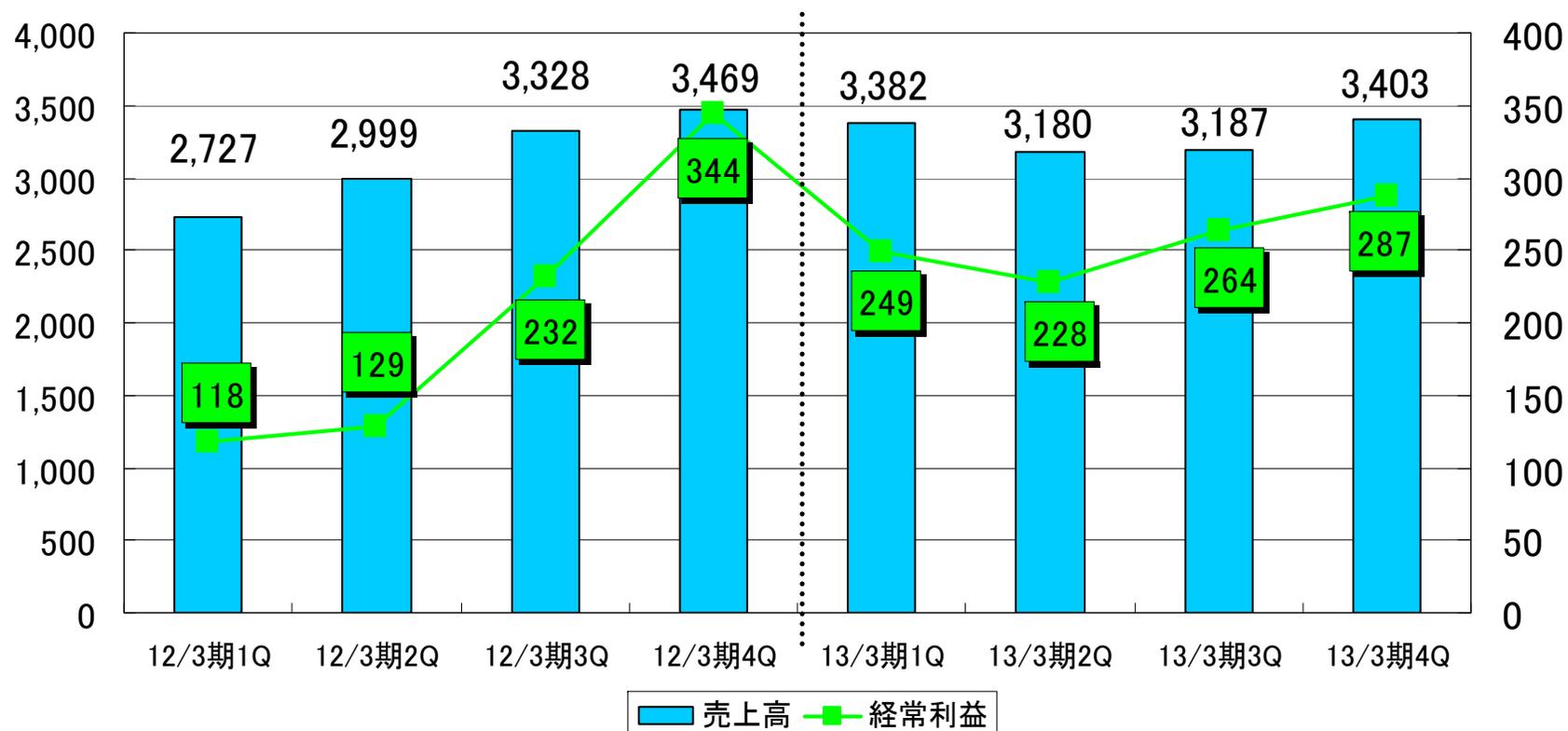
- ▶年間を通じて、売上高が安定的に推移したことにより、過去最高の売上高を達成。
- ▶2012年末からの為替変動の影響により為替差益が増加し、経常利益が大幅に増加。

売上高(左軸)

単位:百万円

経常利益(右軸)

単位:百万円



I .13/3期実績 — 事業別売上高の状況 —

連結

単位：百万円

事業	12/3 通期実績 11/4-12/3	13/3 通期計画 12/4-13/3	13/3 通期実績 12/4-13/3	伸び率
ネットシェイプ	5,937	6,500	6,118	3.1%
アッセンブリ	5,230	5,500	5,578	6.7%
フィルタ	1,356	1,500	1,456	7.4%
連結計	12,524	13,500	13,154	5.0%

➤国内市場が緩やかに回復したこと、東南アジア向けが堅調だったことによる。

➤NDTが挽回生産等により売上高が増加。

➤特定の産業向けが堅調に推移。

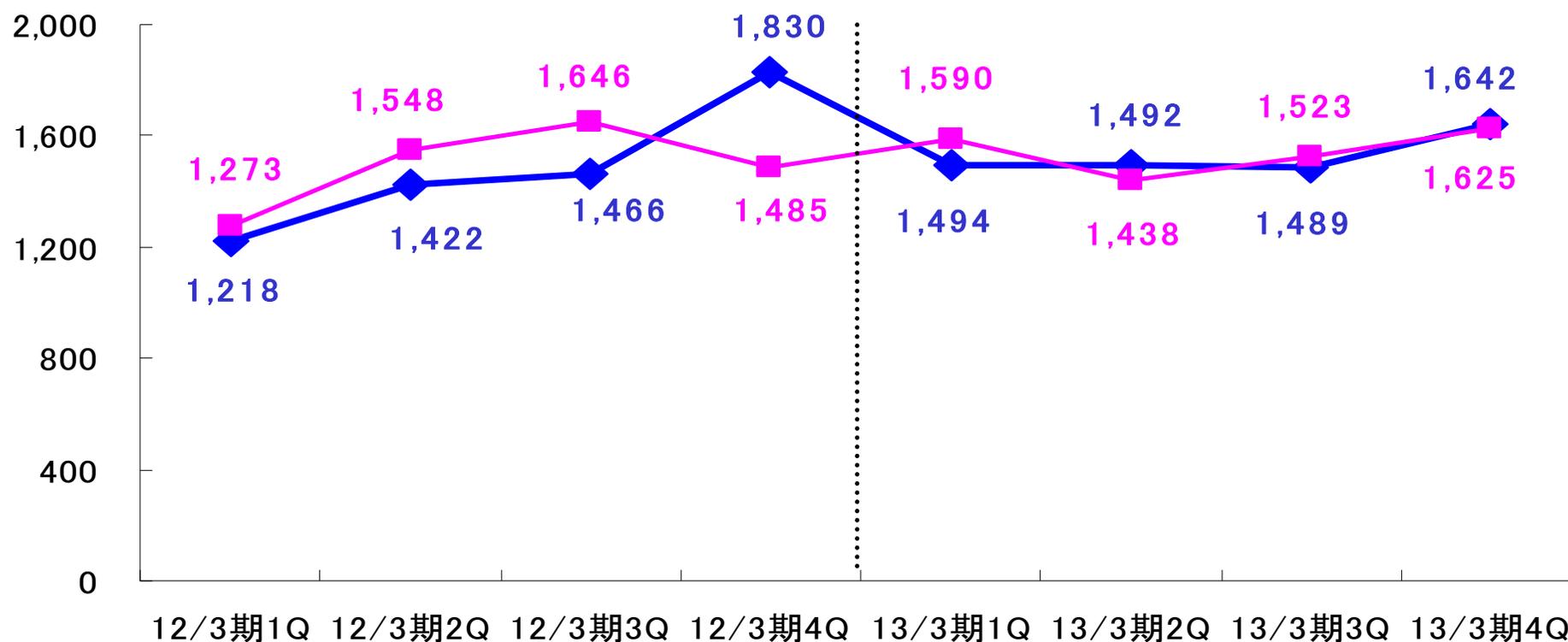
* 百万円未満切り捨て。

I .13/3期実績 — ネットシェイプ事業概況 —

- ▶ **金型部門**: 国内完成車メーカーの生産動向と同様、年間を通じ安定的に推移。
震災、タイ洪水からの挽回生産により伸長した12/3期4Qと比較すると伸び悩んだ状況。
- ▶ **精密鍛造品部門**: 国内におけるスクロール鍛造品が停滞。

単位: 百万円

ネットシェイプ事業受注・売上高推移



* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	12/3 実績	13/3 実績	伸び率
国内	4,095	4,146	1.2%
海外合計	739	867	17.3%
アジア	645	732	13.5%
北米	84	104	24.2%
その他	9	29	213.1%
金型	4,834	5,013	3.7%
精密鍛造品	1,103	1,105	0.2%
ネットシェイプ事業計	5,937	6,118	3.1%

■国内

- ▶ 震災の影響により落ち込んだ前年から緩やかな回復を見せる。
- ▶ 一部、インドネシア二輪車市場停滞の影響も含む。

■海外

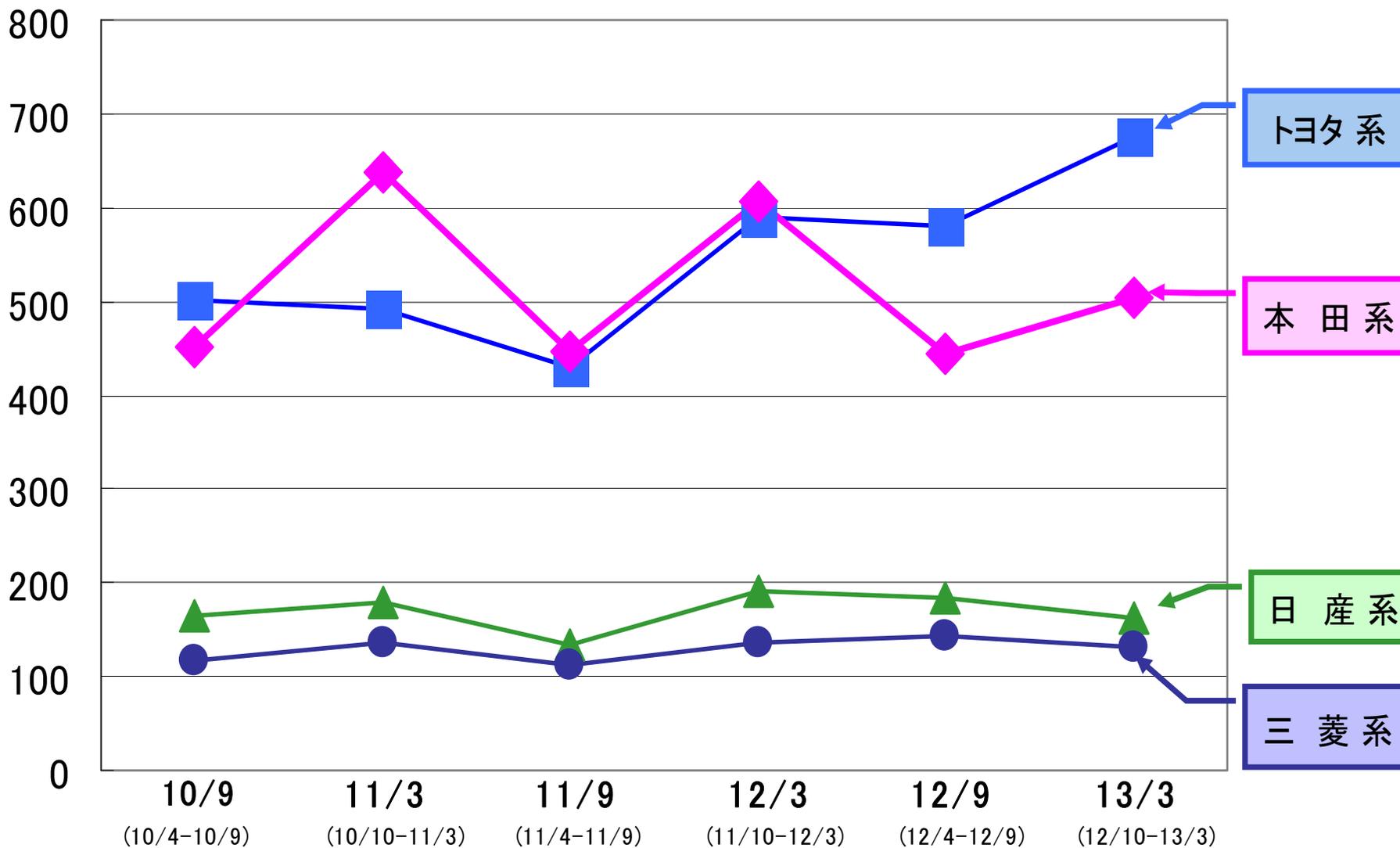
- ▶ 東南アジアにおける日系メーカー向けが堅調に推移。

■精密鍛造品

- ▶ 国内におけるスクロール鍛造品が停滞。
- ▶ 海外におけるスクロール鍛造品の量産開始。

I .13/3期実績 — ネットシェイプ事業概況-ユーザー別金型売上高推移 —

単位:百万円

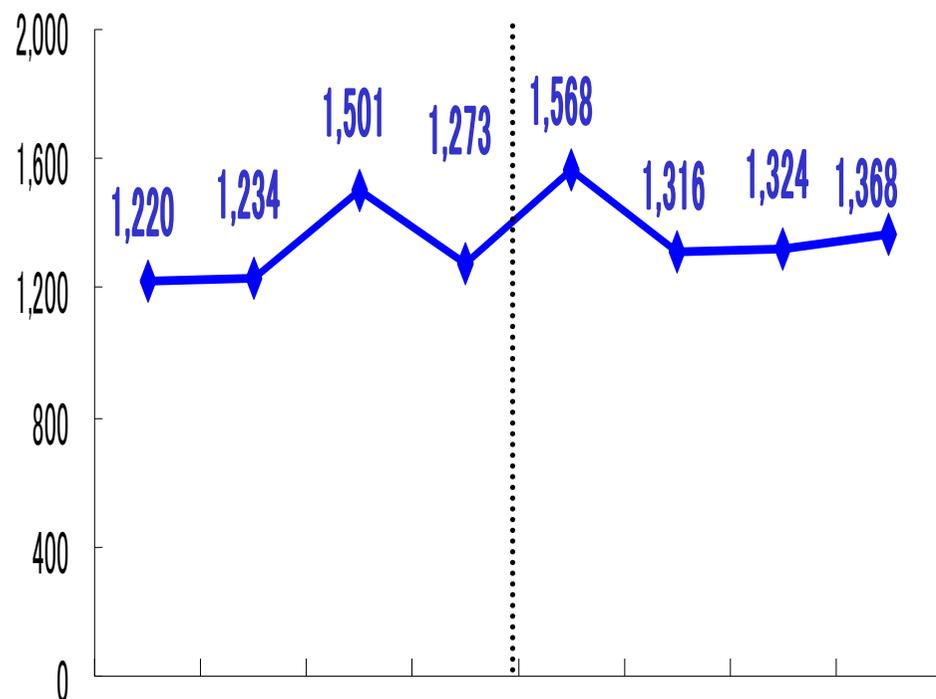


I .13/3期実績 — アッセンブリ事業概況 —

- 欧州自動車市場停滞の影響などにより、国内の売上高が減少。
- 上半期に、タイ洪水からの影響で生じたバックオーダー解消に向けた挽回生産等により、海外拠点NICHIDAI (THAILAND) LTD.が大幅に増収。

単位：百万円

アッセンブリ事業売上高推移



12/3期1Q 12/3期2Q 12/3期3Q 12/3期4Q 13/3期1Q 13/3期2Q 13/3期3Q 13/3期4Q

国内外別売上高推移

単位：百万円

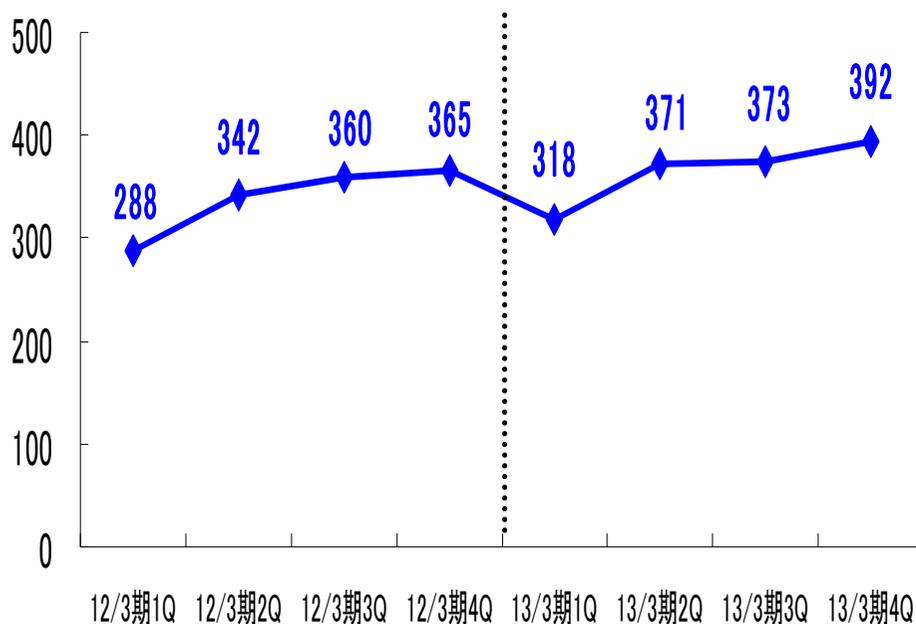
	12/3 実績	13/3 実績	伸び率
国内	2,557	2,485	△ 2.8%
海外	2,673	3,093	15.7%
総合計	5,230	5,578	6.7%

I .13/3期実績 — フィルタ事業概況 —

- ヘルスケア製品など一部産業向けが牽引し、増収となる。
- 海外については、THAI SINTERED MESH CO., LTD.における石油掘削用フィルター以外のフィルター製品の売上高が増加。

単位：百万円

フィルタ事業売上高推移



国内外別売上高推移

単位：百万円

	12/3 実績	13/3 実績	伸び率
国内	970	1,055	8.8%
海外	386	401	3.9%
総合計	1,356	1,456	7.4%

I .13/3期実績 – セグメント別P/L –

連結

単位:百万円

	12/3			13/3		
	売上高	経常利益	利益率	売上高	経常利益	利益率
ネットシェイプ	5,937	334	5.6%	6,118	349	5.7%
アッセンブリ	5,230	284	5.4%	5,578	396	7.1%
フィルタ	1,356	205	15.2%	1,456	284	19.5%
連結計	12,524	824	6.6%	13,154	1,030	7.8%

➢ 震災の影響があった前年から売上高が増加したことによる。

➢ 2012年末からの為替変動の影響あり。

➢ NDTにおけるスクロール鍛造品生産開始の影響も含む。

➢ NDT増産の影響により増益。

➢ 為替変動の影響あり。

➢ 国内外とも増益となったことによる。

* 百万円未満切り捨て。

連結

単位：百万円

	12/3 実績	比率	13/3 実績	比率
売上高	12,524	100.0%	13,154	100.0%
材料費	5,045	40.3%	5,561	42.3%
製品仕入	645	5.2%	556	4.2%
外注加工費	1,273	10.2%	1,275	9.7%
補助材料費	477	3.8%	416	3.2%
人件費	2,215	17.7%	2,306	17.5%
減価償却費	462	3.7%	530	4.0%
在庫増減	531	4.2%	616	4.7%
その他	533	4.3%	511	3.9%
売上原価	10,122	80.8%	10,542	80.1%
売上総利益	2,402	19.2%	2,612	19.9%

* 百万円未満切り捨て。

I .13/3期実績 — 販売管理費 —

連結

単位:百万円

	12/3 実績	比率	13/3 実績	比率
売上高	12,524	100.0%	13,154	100.0%
荷造・運賃	182	1.5%	217	1.7%
旅費交通費	88	0.7%	105	0.8%
人件費	789	6.3%	807	6.1%
減価償却費	76	0.6%	72	0.6%
賃借料	41	0.3%	44	0.3%
その他	384	3.1%	472	3.6%
販売・管理費	1,562	12.5%	1,719	13.1%

荷造・運賃

➤ 上半期、アッセンブリ事業におけるタイ洪水に伴う追加費用の影響残る。

連結

単位:百万円

	12/3 実績	13/3 実績	増減
現金預金	1,852	1,743	△ 109
受取手形	1,072	740	△ 331
売掛金	2,689	2,747	57
たな卸資産	2,122	2,091	△ 30
その他	318	325	7
貸倒引当金	△ 4	△ 4	0
流動資産計	8,051	7,644	△ 406
有形固定資産	4,978	6,111	1,132
無形固定資産	149	99	△ 49
投資その他の資産	617	509	△ 108
固定資産計	5,745	6,720	974
資産合計	13,797	14,365	568

有形固定資産の増加

➤ 投資額増加による。

* 百万円未満切り捨て。

I .13/3期実績 – B/S:負債・純資産の状況 –

連結

単位:百万円

	12/3 実績	13/3 実績	増減
買掛金	1,582	1,328	△ 254
短期借入金	1,979	2,201	222
1年内償還予定の社債	1,000	0	△ 1,000
未払法人税等	136	110	△ 26
賞与引当金	131	137	5
その他	501	751	249
流動負債計	5,331	4,529	△ 802
長期借入金	1,127	1,369	241
その他	103	528	424
固定負債計	1,231	1,897	666
負債計	6,562	6,427	△ 135
資本金	1,429	1,429	0
資本剰余金	1,192	1,192	0
利益剰余金	4,456	4,891	435
少数株主持分	325	472	146
その他	△ 170	△ 48	121
純資産計	7,234	7,938	703
負債・純資産合計	13,797	14,365	568

固定負債・その他の
増加
リース債務増加による。

* 百万円未満切り捨て。

I .13/3期実績 — CFの状況 —

連結

単位：百万円

	12/3	13/3	増減
営業活動によるCF	529	1,608	1,079
投資活動によるCF	△ 549	△ 1,005	△ 456
財務活動によるCF	194	△ 743	△ 937
現金及び現金同等物の増減額	155	△ 112	△ 267
現金及び現金同等物の期首残高	1,344	1,500	155
現金及び現金同等物の期末残高	1,500	1,387	△ 112
FCF	△ 20	602	623

営業活動によるCF

売上債権の増減額

12/3期△685百万円 13/3期 309百万円

たな卸資産の増減額

12/3期△589百万円 13/3期 94百万円

投資活動によるCF

投資額増加による。

財務活動によるCF

社債10億円償還による。

* 百万円未満切り捨て。

Ⅱ. 中計の進捗状況

Ⅱ. 中計の進捗状況～タイにおける金型生産

- NICHIDAI (THAILAND) LTD. にて金型生産を開始。
- 当社の主要顧客である国内自動車部品メーカーのアジアを中心とした海外進出が背景。
- NICHIDAI (THAILAND) LTD. を戦略拠点として位置付け、タイ及び近隣地域のユーザーへの金型供給を目指す。

概要

- ✓ 生産開始予定月：2013年10月
- ✓ 投資額：初年度1億1千4百万円
(2013年3月期に建屋増築済)
- ✓ 売上高 2013年度 50百万円
2014年度 170百万円



ニチダイタイランド (NDT)

✓ タイ・バンコク近郊に立地

✓ ターボチャージャー部品の組立、スクロール鍛造品の生産を行う。ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業にまたがるアジア地域の戦略拠点。

✓ ニチダイ、NPC、Mitsubishi Turbocharger Asia Co., Ltd. (MTA) の合併会社。

Ⅲ.14/3期計画

ネットシェイプ事業

- ✓金型部門：国内完成車メーカーの生産は海外中心に増加傾向になることを想定。金型需要増加が見込まれるため、確実に取り込むことを目指す。
- ✓次期より、北米における販売拠点NICHIDAI U.S.A. CORPORATION及びタイの販売拠点NICHIDAI ASIA CO., LTD.が連結対象。
- ✓精密鍛造品部門：NDTにおけるスクロール鍛造品の量産が本格化。

アッセンブリ事業

- ✓欧州の自動車市場停滞及び欧州における環境規制の施行に伴い、VGターボチャージャーがモデルチェンジの時期に入る影響から、国内、タイ双方の拠点においてターボチャージャー部品の生産が減少する見込み。

フィルタ事業

- ✓新規顧客向け製品が売上高に貢献する見込み。
- ✓海外生産拠点THAI SINTERED MESH CO., LTD.を中心にしたアジア地域向けの拡販

連結

単位:百万円

事業	13/3	14/3	伸び率
	通期実績 12/4-13/3	通期計画 13/4-14/3	
ネットシェイプ	6,118	6,930	13.3%
アッセンブリ	5,578	4,950	△ 11.3%
フィルタ	1,456	1,620	11.2%
連結計	13,154	13,500	2.6%

▶金型部門:国内外ともに増加する金型需要を確実に取り込む。
 ▶精密鍛造品部門:NDTにおけるスクロール鍛造品の量産が本格化。

▶国内外の拠点とも生産減となる見込み。

▶新製品の売上高貢献を見込む。
 ▶アジア向けの拡販を想定。

Ⅲ.14/3期計画 — P/L:売上・利益 —

連結

単位:百万円

	13/3 実績 12/4-13/3	14/3 計画 13/4-14/3	伸び率
売上高	13,154	13,500	2.6%
売上総利益	2,612	2,820	7.9%
販売管理費	1,719	1,820	5.9%
営業利益	893	1,000	12.0%
営業外損益	△ 137	50	-
経常利益	1,030	950	△ 7.9%
当期純利益	561	520	△ 7.4%

売上高

▶アッセンブリ事業の落ち込みを、ネットシェイプ事業、フィルタ事業の増収でカバーし、増収を目指す。

営業利益

▶営業利益ベースで増益を目指す。

経常利益

▶14/3期経常利益の減益の主な要因は、13/3期の為替差益が増加したことによる影響。

▶想定レート:1ドル 93円

1パーツ 3円

* 百万円未満切り捨て。

連結

単位：百万円

	08/3 実績	09/3 実績	10/3 実績	11/3 実績	12/3 実績	13/3 実績	14/3 計画
設備投資額	765	524	434	372	627	1,605	1,100
減価償却費	624	633	557	532	539	602	800

* 百万円未満切り捨て。

	第2四半期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
10年3月期	0.00	0.00	0.00
11年3月期	3.00	6.00	9.00
12年3月期	6.00	6.00	12.00
13年3月期(予定)	8.00	8.00	16.00
14年3月期(予定)	8.00	8.00	16.00

本日は、ありがとうございました。

株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail : konno@nichidai.co.jp

戦略のポイント	設定課題	進捗状況
QDC改善による 製品競争力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 設計、生産から販売までのバリューチェーン全体を見直すことにより、QDCの大幅な改善ひいては製品競争力の強化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 引き続きリードタイム短縮を目的としたプロジェクトを推進。 ✓ リードタイム短縮を目指した設備投資を行う。
技術開発の推進 および新領域の開拓	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 精密鍛造分野のさらなる強化を目的に技術・開発本部を新設。 ✓ 精密鍛造分野の新工法、新製品の開発を進め、多様な産業分野での応用を模索する。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 引き続き小型発電用ローター部品の事業化の推進。 ✓ ステレコンの事業化を目指す。
海外展開への対応	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国内主要顧客の海外展開を念頭におき、営業における国内外の連携を強化。 ✓ 金型、部品量産の生産拠点を念頭においたアジア戦略の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2013年10月よりNDTにて金型生産開始。

戦略のポイント	設定課題	進捗状況
QDC改善による 製品競争力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ サプライチェーンマネジメントの強化により、リードタイム短縮を図り、効率性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ サプライチェーンマネジメント強化により、棚卸資産の回転を高める。 ✓ 塑性加工技術を生かしたコスト削減策を推進。
技術開発の推進 および新領域の開拓	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国内子会社ニチダイプレシジョン株式会社を生産技術、研究開発を担う拠点として役割を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ネットシェイプ事業の技術開発部門との連携を推し進め、部品開発及び新製品開拓を狙う。
海外展開への対応	<ul style="list-style-type: none"> ✓ タイのNDTにおける現調化の推進。 ✓ 量産拠点としてNDTの役割を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 引き続き現調化などを進める。

戦略のポイント	設定課題	進捗状況
<p>技術開発の推進 および新領域の開拓</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ オゾン分解フィルターなどの新製品の拡販。 ✓ 焼結技術の応用分野を広げ、フィルター製品以外の新用途、新市場の確立を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 引き続き新規顧客の開拓を進める。 ✓ その他、新素材の焼結などの開発を進め、新用途開拓を進める。
<p>海外展開への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ タイのTSMにおける、石油掘削用フィルター以外のフィルター生産体制の確立。 ✓ TSMは、量産製品の生産拠点およびアジア地域の市場開拓拠点としての役割を担う。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ TSMを中心にフィルター製品のアジア市場での拡販を目指す。TSMにて石油掘削用フィルター以外のフィルター製品を生産拡大。